

コーポレートレポート  
CSR 2015

make you smile with みらいIT



株式会社ミライト・ホールディングス  
CSR 推進室

〒135-8111  
東京都江東区豊洲 5-6-36  
TEL : 03-6807-3120  
FAX : 03-5546-2967

<http://www.mirait.co.jp/>



印刷用紙は、適切に管理された森林で生産されたことを示す FSC® 森林認証紙を使用しています。



印刷インキは、植物油インキを使用しています。



この報告書は、みんなの文字を使用しています。みんなの文字は、一般社団法人 UCDA が「読みやすさ」を認証した書体です。



# 人と社会と環境にやさしい街をつくる。まもる。



## ミライトグループの総合エンジニアリング&サービス

環境・社会イノベーション事業	電気・空調設備、環境・新エネルギー関連設備、社会インフラ設備の設計、構築、保守、運用
ICTソリューション事業	データ系設備、音声系設備の設計、構築、保守、運用システム・ソフトウェア開発
通信インフラ事業	固定系通信設備の設計・構築・保守・運用
モバイルネットワーク事業	無線系通信設備の設計・構築・保守
グローバル事業	海外の現地情報通信に関連する調査・企画・設計・構築・保守



## CONTENTS

1 目次・編集方針	17 社会とのコミュニケーション
3 トップメッセージ	19 お客さまサービスの向上
7 特集 ミライトグループの事業と社会的責任	21 元気な職場づくり
15 ミライトグループのCSR	23 環境への取り組み
	25 財務データ
	29 グループ概要

### 編集方針

本報告書では、持続可能な社会の実現に向けたミライトグループの方針・活動をご報告しています。当社では、さまざまな社会課題に積極的に取り組むために重点テーマを選定しました。それをもとに、事業活動を通じた持続可能な社会の実現に貢献する活動や、事業活動以外の分野でステークホルダーの皆さまとのかかわる多様な活動を行っています。本報告書では、それらの活動を「つくる・まもる」をテーマに特集記事としてまとめ、詳細な方針や活動はカテゴリーごとに分類した報告パートに掲載しました。

### 対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日  
(報告の一部に、2015年4月以降の活動と取り組みも含まれます)

トップメッセージ

# 透明性・専門性を高め、 長期視点の事業を通じて CSRを果たす

株式会社ミライト・ホールディングス 代表取締役社長

鈴木 正俊

## 変化を明確に捉え、 飛躍への第一歩を踏み出す

ミライトグループは、グループ事業再編成を行った2012年度から2014年度まで、3期連続の増収増益を達成しており、着実な発展を遂げてきたといえます。一方、グループを取り巻く事業環境の変化に伴い、事業内容も大きく変化してきています。

情報通信分野においては、固定ブロードバンド市場が成熟化し、光コラボレーションといった新たな需要拡大の動きが見られ、またモバイル通信市場においては、スマートフォンやタブレット端末などが普及し、新たな料金制度や利用シーンの拡大が進展しています。

また、電力自由化への動きや東日本大震災の復興などを踏まえた環境・エネルギー問題への関心、2020年

の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした社会インフラの再構築への期待が高まっています。

情報通信サービスにおいて近年注目を集めているIoT（モノのインターネット）では、自動車、家電、ロボット、施設など、あらゆるモノがインターネットにつながり、新たな付加価値を生み出すとされています。日本では災害対策、インフラの老朽化に伴う安全・安心の確保、生産性向上といった社会課題に対して、IoTなどによる解決が期待されています。音声やデータの「通信」から人やモノを「つなぐこと」へとICT化が進展し、社会への貢献が具体的な形になり始めています。

ミライトグループでは、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、これらの事業環境の変化を積極的に捉えています。急速な少子・高齢化の進展、インフラの老朽化と巨大災害への備え、食料・エネルギー・地球

環境問題といった新しい社会の新しい課題の解決に向けて、これまでに培ってきたICT技術、電気通信工事・電気設備工事の技術をベースにした新たな社会インフラづくり、ICTソリューションなどを通じた環境・社会イノベーションにより、よりよい社会の実現に貢献していきたいと考えております。

2014年度にスタートしたミライトグループの中期経営計画では、2010年の経営統合以来、着実に進めてきたグループとしての事業体制の整備を土台とし、「総合エンジニアリング&サービス会社」への転換に向けて、飛躍への第一歩を踏み出しています。既存事業の効率化・生産性向上の取り組みを一層推進するとともに、社会課題の解決に向けた新規分野への取り組みをひとつずつ具体的成果へ結びつけ、ミライトグループの事業構造を改革することにより、社会の要請に応え続ける企業と

して、事業を通じたCSRの実現を目指しております。

## 事業を安定して継続していくために、 企業としての透明性を高める

ミライトグループは、その主要事業である通信インフラ建設、電気工事、ソフト開発事業など、いずれも事業自体が社会貢献につながる企業であり、経営理念にあるように「人や社会と共存共栄する」ことにつながっています。

EV充電器設置工事、太陽光発電設備の構築など、新エネルギー関係の取り組みが増え、環境課題の解決を図る機会となっていますし、街づくりの構想が固まり始めた東日本大震災の復興関連をはじめとして、地域活性化にかかわる仕事も広がってきています。ICT技術

を核とした社会・生活のインフラづくり、街づくりといった分野で、プランニングの段階からご相談をいただき取り組みを進めています。

品質がよく効率の高い仕事を実現していくことで、お客さまからの信頼をいただき、その実績の積み重ねが次の仕事につながっていきます。私たちの仕事自体が社会への貢献・還元であり、長期的視点を必要とする社会課題への対応のために、私たち自身の持続的な成長が求められています。また、私たちの事業活動をしっかりと進めていくことは、私たちのお客さまである各企業のCSR推進の一翼を担うことでもあると思います。

事業運営の主役であるミライトグループ社員一人ひとりにおいては、自分の仕事を磨いてよいものをつくりあげ、自分自身のCSRのレベル=自分のブランドを上げることが、ミライトグループのCSRそのものに直結するという重要性をしっかりと理解し、実践してもらおう必要があると思っています。

さらに、グループ社員による個人的な社会貢献活動に対しては、会社としての支援制度を整えていきます。

そして、このような私たちの企業活動全般について、ステークホルダーの皆さまに理解していただくために、企業としての透明性の向上に一層努力していきたいと考えています。このため、企業情報の開示に積極的に取り組むとともに、東京証券取引所上場会社に対し本年6月1日より適用が始まった「コーポレートガバナンス・コード」の各原則にも、すべて対応することにしています。

ミライトグループの仕事は、工事という目に見えにくい活動です。お客さまのニーズを深く汲み取り、効率的かつ安全・高品質で現実の形に置き換えるという、私たちのエンジニアリング力そのものを、いかに具体的にお伝えすることができるか、ということから始め、ミライトグループのあらゆる企業活動について、透明性を高めるべく努力していきたいと思っています。

## 専門性を活かす

### ダイバーシティを推進する

ミライトグループが「総合エンジニアリング&サービス会社」として、お客さまのニーズを現実のものとするた



めに、私たちのエンジニアリング力については、常に高い専門性を維持し更新することが求められます。同時に、近年の新しい社会課題への対応やお客さまの事業における急激な技術革新の進展などに伴い、エンジニアリング技術においても、高度化、多様化が進んでいます。ミライトグループでは、さまざまな経験や専門的な知識・技術の蓄積を組織的に伝承し、チーム力として共有するなど、人材育成の取り組みを企業活動中のシステムとして埋め込んでいくことが重要であると考えています。

人材育成には5～10年という長期的な視野での取り組みが必要であることから、特に注目しているのが、個人の専門性を活かすダイバーシティの推進です。

事業の推進に必要な専門的知識・技能を有する人材には、性別や年齢、所属組織などに関係なく活躍の場と必要な支援を提供し、さまざまな人材がかかわることによる視点の多様性を組織の中に取り込んでいくこととしています。

若手の育成においては、現場での経験を足がかりにマネジメントの経験へとステップを踏むことで着実な成長を目指すものであり、一定の時間を必要とします。その一方で、日々待ったなしの現場対応では、豊富な経験と技術を持つ専門性の高い人材に、即戦力として属性に拘わりなく活躍してもらおう。そのような多様性を受容することにより、人材育成を組織のシステムとして確立していくこと、それが企業の持続的な成長を可能とし、社会の企業に対する要請に応えることにつながると考えています。

## ミライトグループの基本理念

ミライトグループは、経営の基本理念を基に「CSRの基本的な考え方」を策定しました。情報通信インフラや環境エネルギーをはじめとした、人々の暮らしを支える設備の構築・運用・保守などさまざまな事業活動を通じて社会的責任を果たしていきます。

### 経営の基本理念

- 1 通信事業を核とし、常に新しい価値を創造する、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、お客様から最高の満足と信頼を得られる日本のリーディングカンパニーを目指します。
- 2 安全と品質を大切に、最高のサービスを提供することによって豊かで快適な社会の実現に寄与します。
- 3 企業の社会的責任を果たし、常に人間を尊重する企業として、人や社会と共存共栄する企業であり続けます。

### CSRの基本的な考え方

- 1 社会の要請や期待に応じて事業を継続させることで、ステークホルダーから長期的な信頼が得られるようにする。
- 2 本業に社会や環境などの諸課題への対応を組み込むことで、変化へ対応できる企業にする。
- 3 企業として持続可能な社会づくりに貢献することで、存在することを期待されるような「ブランド」にする。

## ステークホルダーに「Your Company」として向き合う

企業は誰のものか、という問いがあります。日本では従来、「我が社」という表現が多用されてきましたが、ここには、経営者や社員にとって企業は自分たちのものである、という意識が少なからず投影されていたのではないかと思います。

一方、CSRの概念の導入において一歩先んずる欧米の株主総会においては、社長は自社を指し、「Your Company」と表現します。これは、すべてのステークホルダーに対し、「この会社はあなたのために経営されている」という企業側の経営姿勢を端的に表明したものであるといえます。

「Your Company」という表現は、自己について説明をすべき他者の存在を強く意識していることを表す言葉です。

よい仕事を通じて実質的にどれだけ社会に貢献していたとしても、説明をせずに黙っていても、何も伝わりません。社外に向けた情報発信の場では、私たちの企業活動について臆することなくあるがままにお見せする努力が必要です。施工現場では、地域の方々をはじめ、関係者の皆さまに工事について理解していただく努力が必要でしょう。言葉や文化の壁はもちろん、国情も異なる海外においては、単に日本での仕事のやり方や品質を持ち込んで、現地の事情に合わないことでしょうか。現地のニーズをきちんと汲む必要があります。

ミライトグループでは、株主さま、お客さま、地域の方々、グループ社員、ビジネスパートナーなどあらゆるステークホルダーに対し、「Your Company」としてコミュニケーションを大切にしながら向き合うことで、社会に対する責任の果たし方を考え行動していくことを目指していきたいと考えます。



# つくる

## 日々の暮らしやビジネスをもっと便利で豊かなものにする社会インフラやシステムをつくる

ミライトグループでは、通信ネットワークなどの社会インフラ、太陽光発電やEV充電などの地球環境にやさしいエネルギー関連設備などを構築しています。さらに、人と人のつながりに新しい価値を生み出せる各種システムの開発・提供も進めています。さまざまな情報通信システムにより知識や情報を共有し、円滑なコミュニケーションを促進することで、社会全体をより便利で豊かなものへと進化させていきます。

## これからの社会インフラをつくる

### 社会のニーズ

#### 手軽で快適にインターネットにつなげたい

現代社会では、情報をリアルタイムで送受信できる環境は生活の中でもビジネスにおいても欠かせないものとなっています。ネットワークユーザの増加やトラフィックの増大に対応するため、高速で安定した通信を可能にする光ネットワークの構築を全国および海外で進めています。

### ミライトグループにできること

#### 光ネットワークの構築



ブロードバンド開通作業

### 社会のニーズ

#### 地下鉄や山間部などでも快適に携帯電話を使いたい

スマートフォンやタブレットの普及に伴い、建物内・地下鉄駅構内・駅間（トンネル内）など、これまでは通信がつながりにくかった場所でも快適なモバイル通信が求められるようになりました。

これにより急増する通信量に対応するため、設備の増設などを行い快適なモバイル環境を支えています。

### ミライトグループにできること

#### モバイルネットワークの構築



地下鉄駅構内不感知対策工事

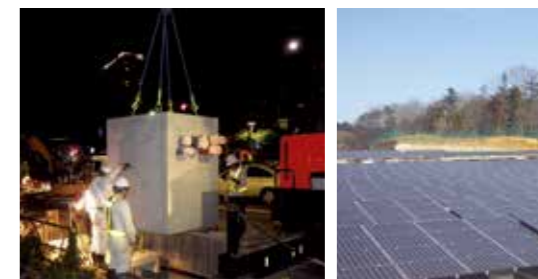
### 社会のニーズ

#### 人と環境にやさしい街にしたい

地球温暖化やエネルギー資源問題などに対応するため、「太陽光発電」「EV充電」「空調衛生設備」など環境や省エネに関するさまざまなソリューションを提供しています。さらに、高速道路や地下鉄に関連する設備工事のほか、電線類の地中化などで人と環境にやさしい街づくりに貢献しています。

### ミライトグループにできること

#### 環境に配慮した設備の構築



電線類地中化工事

太陽光発電設備の構築

## コミュニティを便利に豊かにする

### 社会のニーズ

#### いつでもどこでもインターネットを快適に使いたい

人が多く集まるスタジアムなどのイベント会場や商店街、ホテル等に Wi-Fi 設備を構築し、いつでもどこでもインターネットに接続できる環境を提供しています。

ミライトグループでは、ネットワーク機器の選定・調達・設置・配線等のインフラ構築から設備の運用・保守まで、国内外を問わずトータルにサポートしています。

### ミライトグループにできること

#### Wi-Fi ソリューション



Wi-Fi 環境構築工事

### 社会のニーズ

#### ICT 技術を使って教育環境をもっと充実させたい

さまざまな教育機関において、学内ネットワーク・サーバや各種認証システム、履修管理等のシステムの構築、運用・保守を行っています。

また、小中学校の教育現場において ICT 利活用を進めている、総務省主催の「フューチャースクール推進事業」に協力しています。

### ミライトグループにできること

#### 教育機関向けソリューション



通信ネットワークを活用した授業の様様

### 社会のニーズ

#### 旅行先で現地の情報をもっと知りたい

『ee-TaB\* (イータブ・プラス)』は、ホテルや旅館などの客室にタブレット型の情報機器を設置し、宿泊者向けにさまざまな情報を提供しています。館内案内や周辺の観光案内など、宿泊施設ごとにコンテンツをカスタマイズし提供することにより、宿泊者は旅行先で必要な現地情報等を簡単な操作で入手することができます。また、今後さらに増加する外国人旅行者も利用できるよう、日本語のほか英語・中国語・韓国語などに対応しています。

### ミライトグループにできること

#### タブレット情報配信サービス



『ee-TaB\* (イータブ・プラス)』

## ビジネスを円滑にする仕組みをつくる

### 社会のニーズ

#### 業務システムの開発を短期間、低コストで実現したい

公共システム・企業基幹システムから、日々の業務管理まで、業種や業態により求められるソフトウェアはさまざまです。

ミライトグループでは、業務システム開発用フレームワーク(楽々 Framework 3) や多国語対応 web ワークフローシステム(楽々 Workflow II) を使い、法人向け業務システムの導入計画から実装、運用・保守までをトータルでサポートし、あらゆるニーズに合ったシステムを提供しています。

### ミライトグループにできること

#### システム・ソフトウェア開発



お客様の基盤システムや業務支援システムの導入プロジェクトにサブマネージャーとして従事し、プロジェクト管理だけでなく、新しい運用方法やシステム化の提案など、トータルで支援しています。

お客様の業務効率化に寄与し、喜んでいただけるシステムをつくることは大前提ですが、要望をただ聞き入れるだけでなく、システム化すべき部分と運用対応すべき部分を判断し、常に最適な提案をできるように心がけています。

(株) ミライト情報システム  
エンタープライズ事業本部  
柳本 佳那

### 社会のニーズ

#### 屋外で行われる業務を効率化したい

スマートデバイス向け業務アプリ「ImageGate®」は、ネットワークがつかない環境下でもスマートデバイスに取り込んだ図面・地図等に写真や文字等の情報を追加し、共有することができるツールです。紙やデジタルカメラで行われている屋外の保全業務や保守点検業務を IT 化し、効率化します。

### ミライトグループにできること

#### スマートデバイス向け業務アプリ



「ImageGate®」

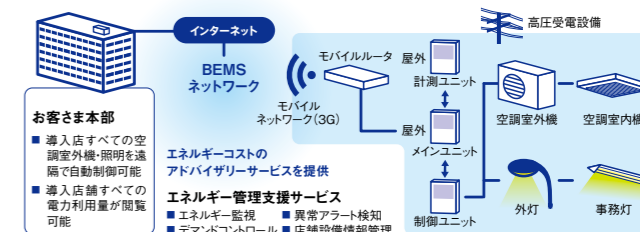
### 社会のニーズ

#### 地球温暖化やエネルギー資源問題に真剣に対応したい

地球温暖化やエネルギー資源問題などに対応して、さまざまなソリューションを提供しています。「ビルエネルギーマネジメントシステム (BEMS)」は、電力使用量の効率化による省エネソリューションの設計・構築・保守や空調設備の自動運転管理によって、省エネと最適な居住環境の維持を図るシステムです。

### ミライトグループにできること

#### 省エネ・環境ソリューション



### 社会のニーズ

#### お客さまからのさまざまな声をサービスの改善につなげたい

消費者と企業をつなぐコンタクトセンターの構築に関する多くの実績を持っており、通話録音システムや発着信履歴管理システムなども提供しています。「ワークフォース・マネジ

### ミライトグループにできること

#### コンタクトセンターソリューション

メント」の手法を使ったシステムにより、コンタクトセンターの呼量を高い精度で予測し適切な人員配置をすることができます。



# まもる

## 災害や事故に備え、人と地域や企業をつなぐ ネットワークや社会インフラをまもる

突然発生する自然災害や大事故は、さまざまなネットワークを遮断し社会インフラを破壊します。ミライトグループは、通信ネットワークや道路・上下水道などの社会インフラの保守や管理を行っています。災害時に役立つ防災設備の整備や、各種情報通信システムをまもるセキュリティも提供しています。

## ネットワークなどの社会インフラをまもる

### 社会のニーズ

#### 災害時でも電話を早く 使えるようにしてほしい

台風や地震など重大な災害や事故が起こった際には、万全の設計で構築した通信ネットワークでも寸断されてしまうことがあります。しかし災害時には通信の需要は通常よりも高まるため、社会インフラとしての通信ネットワークを一刻も早く復旧させることは極めて重要です。

ミライトグループは、ネットワーク設備が被災した場合、一丸となって復旧活動に取り組んでいます。

### ミライトグループにできること

#### 通信ネットワークの災害復旧



秩父の崖崩れ現場復旧

### 社会のニーズ

#### いつでも安心してつながる 通信ネットワークであってほしい

電話などの通信ネットワークは、「つながるのが当たり前」と誰もが思っています。いつでも安心して使える信頼性の高いネットワークを維持するためには、定期的な保守や管理が必要です。

培ってきた技術力やノウハウをもとに、電柱や無線基地など高所から地下までさまざまな場所で安全に留意しながら保守・管理業務を行っています。

### ミライトグループにできること

#### 通信ネットワークの保守メンテナンス

電線共同溝工事の現場を主に担当しています。私たちの仕事は、暮らしを快適、便利にするために行う一方、工事中は周辺住民の方にご不便をおかけするケースが少なくありません。そういったことを常に念頭に置き、「相手の立場に立って物事を考え、心情に寄り添えるようなコミュニケーションをとること」を心がけ、これからも安全・安心・快適な設備をつくり、まもってきたいと思っています。



(株)ミライト  
NTT 事業本部  
内田 貴大

### 社会のニーズ

#### 長期間使用している道路などを 安全に維持管理したい

道路や橋梁、トンネルなどの社会インフラも長い年月が経過すると老朽化するため、安全を維持するためには計画的な維持管理が必要です。ミライトグループは老朽化したさまざまな社会インフラの復旧工事を実施しており、下水道管の工事については、道路を掘り起こすことなく通水しながら工事ができる工法を採用しています。

### ミライトグループにできること

#### 老朽インフラの更生



通水しながら工事ができる SPR 工法

## ビジネスや暮らしをまもる

### 社会のニーズ

#### 安心して暮らせる街にしてほしい

ミライトグループでは、食品工場などでの製造工程の監視や、商店街・自治会・通学路などの防犯、店舗内の顧客動線把握や社員管理といったセキュリティ・マーケティング利用など、IPネットワークを活用した監視カメラソリューションを提供しています。

### ミライトグループにできること

#### 監視、保守に関するソリューション



### 社会のニーズ

#### 設備の故障や不具合に迅速に対応してほしい

ミライトグループには、ネットワーク機器の故障などで困った方を技術サポートする、24時間365日電話で受け付けるコンタクトセンター「カスタマー・システム・サポート・センター（CSSC）」があります。ここでは、全国120拠点から2時間以内で故障の現場へ駆け付けられることのできる体制を構築しています。

### ミライトグループにできること

#### 設備保守・運用サービス



### 社会のニーズ

#### サイバー攻撃などからシステムをまもりたい

サイバー攻撃などからコンピュータシステムをまもるさまざまなセキュリティシステムを提供し、お客さまの事業継続を支援しています。ひとつのハードウェアに複数の異なるセ

### ミライトグループにできること

#### ネットワークセキュリティシステム

キュリティ機能をまとめた次世代ファイアーウォールの「クラピスター」（スウェーデン）でトータルなネットワークセキュリティを提供しています。

### 社会のニーズ

#### 企業にとって重要な文書等を安全に管理したい

事業継続に有効となる、重要な文書などを管理するシステムを提供しています。クラウド環境にて提供する高性能なデジタ

### ミライトグループにできること

#### 文書保管システム

ルアーカイブシステム「i2D」は、大量のスキャンイメージを高速で処理し、電子情報や紙情報資産を一元的に管理します。

## 災害などからコミュニティをまもる

### 社会のニーズ

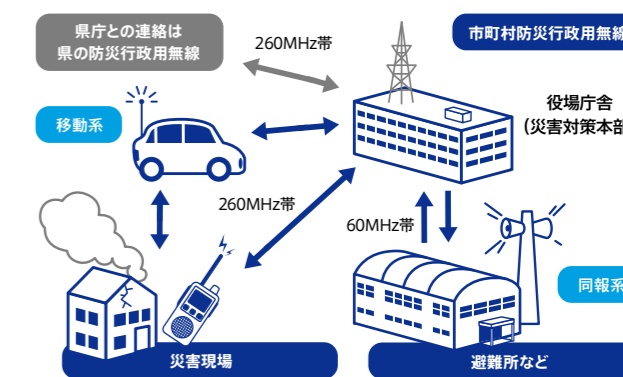
#### 災害時に正確な情報がほしい

緊急・災害時に力を発揮する地域防災無線をデジタル化する動きが、地方自治体を中心に高まってきています。

デジタル化により、災害現場や避難所と自治体との間の双方向通信、データ通信の高速化、また防災情報系システムの連動等、自治体のニーズにあわせた柔軟な対応が可能となります。ミライトグループでは、これまでの通信インフラ工事の実績を活かした最適なサービスをマルチベンダーで提供しています。

### ミライトグループにできること

#### 防災無線のデジタル化



### 社会のニーズ

#### 災害に備えた設備がほしい

津波襲来に備え、沿岸地域では緊急避難用津波退避櫓（やぐら）の設置が増えています。ミライトグループが提供する津波退避櫓は、退避階段とスロープを配備し車いすの方も避難できるようになっています。また、各地域で予想される津波の高さを考慮し、櫓の高さを設定できます。

### ミライトグループにできること

#### 津波退避櫓（やぐら）の設置



退避櫓

## これからの社会のニーズに応える

### 太陽光システム劣化診断

太陽光発電システムの爆発的普及に伴い、発電量を維持するための運用保守のニーズがますます高まる中、太陽光発電システムの発電性能をオンサイトで診断する製品の開発をメーカーと共同で進めています。

### 280MHz帯を使用するセンサーネットワークの実証実験

世の中のあらゆるモノをインターネットにつなげるIoT（モノのインターネット）社会の実現に向けて、スマートメーター

の活用や、分散するセンサ機器の新たな通信手段として広域無線ネットワークの利用が期待されています。総務省の「280MHz帯の周波数を使用するセンサーネットワーク等に関する提案募集」に機器メーカーと共同で応募し、280MHz帯での最適なネットワークシステムを目指した実証実験を行っています。



280MHz帯実証実験用アンテナ



# より豊かで快適な社会の実現に向けて

ミライトグループは、グループで働く全員がよりどころとする考え方「ミライト WAY」に基づき、グループ全体で CSR を推進しています。

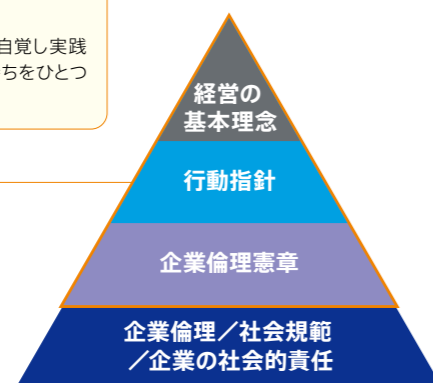
人や社会と共存共栄する企業であり続けるために、最適なコーポレートガバナンスを構築するとともに、事業やそれ以外の活動を通してさまざまな CSR 活動を行っています。

## ミライト WAY

ミライトグループの「経営の基本理念」「行動指針」「企業倫理憲章」を「ミライト WAY」として体系化しました。

### ■ ミライト WAY

**ミライトWAY**  
ミライトグループの社員一人ひとりが自覚し実践するためのよりどころ。全社員の気持ちをひとつにする考え方。



- #### 行動指針
- 1 「期待を超える」サービスを常に提供します！
  - 2 「安心と信頼」を現場力でさらに高めます！
  - 3 一歩前へ！「知恵と勇気」をかたちにします！
  - 4 「誠実と公正」を仕事の基本とします！
  - 5 豊かな未来を「強いチーム力」でつくります！

- #### 企業倫理憲章
- 「ミライトグループ企業倫理憲章」
- 1 「法令等遵守」に関する基本姿勢
  - 2 「お客さま」に対する基本姿勢
  - 3 「株主・債権者」に対する基本姿勢
  - 4 「取引先等」に対する基本姿勢
  - 5 「従事者・職場」に関する基本姿勢
  - 6 「社会・環境」に対する基本姿勢
  - 7 「個人情報・顧客情報及び知的財産の保護」に関する基本姿勢

## CSR 重点テーマ

**環境**  
環境負荷の増大は、地球の持続可能性を揺るがす大きな課題であり、日本のみならず世界において共通の重要な社会課題です。ミライトグループにおいても「環境・社会イノベーション事業」は中期経営計画の柱のひとつとして位置づけられています。ISO 26000 等のガイドラインを参照しつつ、社会課題解決に向けて、社会的公器としての環境対応を推進するとともに、事業活動を通じた環境配慮型社会基盤の構築に寄与していきます。

**地域活性化**  
社会の重要な構成単位である「地域社会」においては、地域経済の低迷や地域コミュニティの希薄などさまざまな課題があげられます。ミライトグループの事業は、地域との密接な関係のうえに成り立っているものであり、こうした社会課題との関係性が強いものです。行政組織や地域住民を中心とした関係者との密なコミュニケーションと連携をもって、社会・生活のインフラづくり、街づくりを推進し、地域活性化に貢献していきます。

**人材育成**  
建設業にかかわる人材の不足は、社会に重大な影響を及ぼします。近年の新しい社会課題に柔軟に対応できるよう、社会インフラの構築をはじめとしたミライトグループの事業推進に必要な技術力を備えた人材を育成するとともに、個々の専門性を活かしたダイバーシティを推進してきます。

### ■ CSR に関する主な取り組み

ISO26000 中核主題	主なテーマ	2014 年度実績	2015 年度の取り組み
組織統治	◆ グループの重点課題への対応	・実効性のある組織体制や仕組みの整備	・コーポレートガバナンス・コードの実践と継続的な改善
人権	◆ ダイバーシティの推進	・グループ会社からの登用、グローバル人材、高齢者、アスリートの採用 ・重度障がい者の採用 ・新卒採用における女性採用者数の拡大	・多様な人材の採用と職域の拡大 ・人権教育の拡充
労働慣行	◆ 次世代人材の育成 ◆ ワークライフバランスの推進	・キャリアパスの設定、ジョブローテーションの実施 ・失効年休積立制度の導入	・グループ一体となった人材育成 ・柔軟な働き方の提供
環境	◆ 地球環境負荷の低減 ◆ 環境事業の推進	・太陽光発電、EV充電システム等の環境関連ビジネスの拡大 ・拠点新設時の省エネルギーシステムの導入 ・廃棄物の削減	・環境関連ビジネスのさらなる拡大 ・各事業所における省エネルギー化 ・廃棄物、消費エネルギーの削減
公正な事業慣行	◆ リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底 ◆ 情報セキュリティの強化	・研修などによる啓発と推進の継続 ・重点リスク項目を設定し PDCA で推進	・研修などによる啓発と推進の継続 ・BCP に関するさらなる高度化
消費者課題	◆ サービス品質の向上	ミライトクオリティの確立に向けた各種施策の実施 ・体感設備等による危険感受性ブラッシュアップ ・転落防止器具の導入	・ミライトクオリティの確立に向けた安全品質向上活動の推進
コミュニティ参画及びコミュニティの発展	◆ 地域に密着した事業活動の推進 ◆ 社会イノベーション事業の推進	・各拠点における地域密着事業、社会イノベーション事業の着実な実施 ・各事業所における地域行事への参加	・街づくり、社会イノベーション関連事業のさらなる拡大 ・グループとしての地域貢献施策の展開

## コーポレートガバナンス

当社は、実効的なコーポレートガバナンスを実現し、すべてのステークホルダーとの信頼関係を構築していくことを、経営上の最も重要な課題のひとつと位置づけています。

当社は東京証券取引所が定めるコーポレートガバナンス・コードの各原則についてすべてを実施するとともに、その継続的な改善により、企業価値の向上と持続的な成長を目指しています。

### 内部統制システム

当社は、ミライトグループ各社の業務の適正性を確保する体制として「内部統制システムの基本方針」を取締役会で決議して取り組んでいます。また、「子会社管理規程」を制定し、子会社の内部統制の具体的な運用体制を整備することにより、ミライトグループとしての内部統制システムを確立し、適切なグループ運営をしています。

### 内部監査

当社は、業務監査室を中心に、統一的な監査や内部監査の取り組み状況の確認などを行うことで、グループ全体の内部統制の整備・運用状況を検証するとともに、業務改善の推進を進めています。

### コンプライアンス

ミライトグループは、コンプライアンスの徹底を図るため、「コンプライアンス規定」を 2011 年 3 月に策定しました。社長を委員長とする「コンプライアンス委員会」で個別課題について審議するとともに、推進活動の進捗状況を管理しています。また、「コンプライアンスマニュアル」をグループ内に配布し、企業倫理の浸透・徹底を図っています。

### リスクマネジメント

「リスク管理規程」で、グループとしてのリスク管理の基本事項を定め、さまざまなリスクに対して的確な管理を行うとともに、社長を委員長とする「リスク管理委員会」でリスク管理に関する課題の審議を行っています。

情報セキュリティについては、ミライトグループが導入している情報セキュリティ・マネジメントシステム ISMS (ISO/IEC27001) を活用し、グループ一体となって重要な情報の漏洩防止を徹底し、情報資産を保護しています。

※コーポレートガバナンスの詳細は当社ホームページおよび東京証券取引所のホームページで公表されている当社の「コーポレートガバナンス報告書」をご参照ください。

## 豊かな未来を社会とともに築く

グループ一体となって豊かで快適な社会の実現に寄与するため、企業としての社会的責任を果たし、常に人間性を尊重し、人や社会と共存共栄する企業であり続けていきます。

### 社会貢献活動・地域とのコミュニケーション活動



江東ボランティアまつり

#### 「江東ボランティアまつり」に参加

9月6日に開催された「第14回江東ボランティアまつり」(共催:江東ボランティア連絡会、江東区社会福祉協議会)に参加しました。このイベントは参加者や住民の間で新たな連携を持ち、相互関係を育むことを目的としています。今回は、手話や点字、車椅子体験などの福祉体験コーナー、被災地支援グッズ、障がい者の手づくり作品バザーなどを実施。ミライトグループから参加した社員は、バルーンアートの実演を行い、地域住民との交流を深めました。



土木工事見学会

#### 土木工事現場での見学会を開催

東京都足立区の幹線道路整備工事の現場で地域住民を対象とした現場見学会を開催しました。きっかけは、「なぜ道路工事を実施するのか」を自由研究のテーマに選んだ近隣の小学生が訪ねてきたことです。見学会では、工事の目的や無電柱化のメリットを説明したほか、建設機械の体験試乗も行いました。参加した地域住民からは、「工事のイメージがよいもの変わった」と好評をいただきました。



大宮技術センターのお花見会

#### 近隣住民を招いてお花見会を開催

大宮技術センターでは、毎年、敷地内の3本の桜が満開になる頃に近隣住民を招いてお花見会を開催しています。地元で愛される桜をご覧いただくことと、事業活動への理解を深めていただくことを目的としており、2014年度で8回目となります。近隣住民に寄り添った活動を通して、地域とともに円滑な事業運営を継続していきます。



NIPPON IT チャリティ駅伝選手団

#### 「NIPPON IT チャリティ駅伝」に参加

IT業界は活力あふれる元気な業界として認識されていますが、一方でその特殊な業態から「社会的に立場の弱い未就労者」を生み出しています。こうした状況を受け、ミライトグループは未就労者の社会復帰を目的とした「NIPPON IT チャリティ駅伝」を毎年大会スポンサーとして支援するとともに、社員がチームを組んで参加しています。

### IR 活動

当社は、IR活動を適切な企業評価と信頼を確保し、「総合エンジニアリング&サービス会社」として持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するものと位置づけています。IR活動は公表している「ディスクロージャーポリシー」に則り、継続的に実施しています。

また、決算説明会および海外IRは、株主・投資家の皆さまと建設的な議論を促進するため、原則として代表者自らが説明を行うこととしています。



決算説明会

#### 適時開示等の実施

重要情報の適時・適切な情報開示については、TDnetやEDINETによるディスクロージャーを行っています。また、当社ホームページ(<http://www.mirait.co.jp/>)やプレスリリース等を活用し、より広範な情報開示にも取り組んでいます。決算説明会などのIR活動で使用する資料は、株主・投資家の皆さまにわかりやすく、有益な情報を提供できるよう努めています。



決算説明会の動画配信

#### コミュニケーションの充実にに向けた取り組み

アナリスト・機関投資家を対象に決算説明会を年2回開催しています。説明会の様子は、すべてのステークホルダーの皆さまが閲覧できるよう、ホームページ等で動画配信を実施しています。海外の機関投資家に対しては、海外IR実施や英語でのタイムリーな情報提供に努めています。なお、決算説明会や個別面談、お問い合わせ等により株主・投資家の皆さまからいただいたご意見等は、グループ内の主要関係者に報告するなど、フィードバックを実施しています。また、すべての株主の皆さま宛に業績やトピックスをまとめた冊子「ミライトレポート」を年2回送付しています。



ミライトレポート

なお、2015年度から個人投資家向け説明会を開催しています。

#### インサイダー情報の管理

株主・投資家との面談に際しインサイダー情報を保有している場合は、「内部者取引規制に関する規程」に則り適切に情報管理を行っております。また、決算情報の漏洩を防ぎ、公正性を確保するため、決算(四半期決算を含む)発表日前の2週間を沈黙期間とし、この期間内は決算に関するコメント、ご質問等に対する回答を差し控えています。



IRに関するプレゼンテーション資料

#### 株主総会

招集通知の早期発送、インターネットによる議決権の行使、英文招集通知(要約版)の作成など、株主総会の活性化および議決権行使の円滑化に積極的に取り組んでいます。

## 高い技術力に基づく確かな品質のサービスを提供する

お客さまに満足していただき信頼を得るため、「総合エンジニアリング&サービス会社」として、安全と品質を大切にしながら最高のサービスを提供します。

### 品質マネジメントシステム

#### 品質方針

標準化された生産・サービス活動を効率的に展開し、お客さまの期待・信頼に応える高品質な製品・サービスを提供しています。

- 適用される法規制及び顧客要求事項に迅速に対応する。
- 「お客さま第一」の理念のもと、製品・サービスの質的向上並びに施工品質の向上を図ることにより顧客満足度を向上させるとともに、効率的な生産・サービス活動を実現する。
- 品質リスクを低減し、QCDの維持・向上を実現する (QCDとは、Quality:品質、Cost:コスト、Delivery:納期)。

ミライトグループ各社は、統合マネジメントシステムのひとつとして品質マネジメントシステム (ISO9001) を認証取得しており、「安全・安心・信頼の確保」は経営基盤と考え「品質方針」を定めて、高品質の工事やサービスの提供に努めています。

### 品質を支える技術力の向上



IP 技術者育成研修



匠の会のロゴマーク



つくばフォーラム

#### 高度 ICT 人材の育成

高度化する情報関連技術に対応するとともに、ICT ソリューション関連事業領域の拡大を図るため、高い知識と技能を持った IP-NW 技術者およびサーバ技術者を積極的に育成しています。

#### 技術力の継承と向上策「匠の会」

高度な技術者、技能者を「匠」として認定する制度を設けています。65名の「匠」が「匠の会」で一同に会し、高度な技術・技能の継承とさらなる向上を目指しています。

#### 業界全体の技術力向上への取り組み

業界全体の技術力向上に貢献するため、「西日本 ICT フォーラム」や「つくばフォーラム」といった各種展示会に参加しています。展示会では、モバイルタブレットを使いリアルタイムで工事進捗管理を行うシステム「meits-so for Mobile」や、光ケーブル心線対照器などを展示しました。

### お客さま満足度向上を目指す取り組み

#### お客さま満足度調査

お客さまの声を工事品質の向上やサービスの改善につなげるための取り組みを行っています。

お客さま満足度調査として工事品質やお客さまへの提案内容などについてアンケートを行い、その結果をもとに社長を委員長とする CS 委員会で日頃の取り組みの成果と改善点を検証しています。

調査結果に基づいた PDCA サイクルを機能させることで、社員の意識向上とお客さま視点でのサービス向上に努めています。



KAIZEN 大会

#### KAIZEN 大会

業務の改革や改善に関して現場から積極的に情報発信できるよう改善提案活動や TQM (Total Quality Management) 活動を推進しています。10 月 24 日に開催したミライトグループ「KAIZEN 大会」では、安全・品質向上、生産性向上、営業力強化などをテーマに東京会場と大阪会場をテレビ会議システムで結び、15 組が事例の発表を行いました。

### 技術力に関する評価

#### 「光通信工事技能競技会」で総合優勝

(一社) 情報通信エンジニアリング協会が主催する「光通信工事技能競技会」は通信設備の施工技術のさらなる向上、最新技術の普及拡大、技術者のプロ意識醸成などを目的に毎年開催されています。

7 月 31 日に横浜市で行われた「第 9 回光通信工事技能競技会」では、(株)ミライト・テクノロジーズがすべての種目で入賞を果たし、総合優勝を獲得しました。



#### 「優秀施工者」国土交通大臣顕彰を受賞

平成 26 年度優秀施工者国土交通大臣顕彰を(株)ミライト・テクノロジーズの内藤誠二が受賞しました。この顕彰は現場の第一線で「ものづくり」に直接従事し、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている建設技術者に与えられるものです。ミライトグループでは、2013 年度に続き 9 人目の受賞となりました。



「光通信工事技能競技会」で総合優勝

## いきいきと働ける安全な職場をつくる

従業員一人ひとりの個性を尊重し、それぞれが持つ能力を最大限に発揮して活躍できる組織風土づくりを推進するとともに、安全で働きやすい職場環境の整備にも努めています。

### 労働安全衛生マネジメントシステム

#### 労働安全衛生方針

業務の遂行にあたっては「安全」を最優先とし、ミライトグループで働く人々の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進します。

- 適用される法規制及びその他の労働安全衛生要求事項を順守する。
- 適切なリスクアセスメント及び危険予知活動を通して、事業活動で発生する労働安全に関するリスクを迅速に低減・排除する。
- ミライトグループで働く全ての人々は労働安全衛生の相互啓発を図り、安全・安心の定着活動を促進する。

ミライトグループ各社は、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を認証取得しています。「安全、安心、信頼の確保」を経営基盤と位置づけ、それぞれ「労働安全衛生方針」を定めて安全で快適な職場環境の確保を図っています。

### 安全に関する取り組み



ミライトグループ安全大会

#### ミライトグループ安全大会

厚生労働省が中心となって毎年7月に開催している「全国安全衛生週間」に合わせて、ミライトグループ安全大会を開催しています。平成26年度は、7月9日に大阪で、7月15日に東京でそれぞれ開催しました。グループ方針や安全施策事例の発表、外部講師による安全講話などを行い、情報共有による安全意識の醸成に努めています。

#### ヒヤリハット体験集の発行

事故、撲滅を目的として『自分の命・仲間の命ーヒヤリで済んだ!体験集』を発行し、従業員一人ひとりに配布しています。

2005年より稼働している「ヒヤリハット集計システム」には、月間約400件のぼる体験事例が従業員から報告されています。そこに集まった体験事例を人身・設備・交通の事故種類別に分類・編集し、実際に起こった事故事例の説明とともに掲載しました。この冊子を安全教育や現場での危険予知活動に活用し、危険に対する意識を高めています。



『自分の命・仲間の命ーヒヤリで済んだ!体験集』

### ダイバーシティと人材育成

#### 多様な人材が活躍できる職場づくり

年齢、性別、国籍、人種、障がいの有無にかかわらず、個性を尊重し、持てる能力を最大限に発揮できる組織風土づくりを推進しています。

中でも女性社員の活躍推進には力を入れており、就業環境の充実やさまざまなキャリアパス、チャンスの提供を通じて日常的に活躍できる職場づくりに取り組んでいます。

#### 海外での取り組み

グループのミャンマー現地法人 MIRAIT Information Systems Myanmar Co., Ltd. では、現地採用社員に対し、技術的な研修だけでなく、語学スキル向上を目的とした日本語教室での研修を行うなど、現地の社員が日系企業で十分に実力を発揮できるような育成に努めています。

#### 新たな人材育成体系

ミライトグループでは、人材育成を重要なテーマのひとつと位置づけています。(株)ミライトでは、事業展開に必要とされる専門能力を高めていくための「分野別モデル体系」と、各階層で期待される役割やキャリアステージに応じて身につけるべきスキルやナレッジの修得を図る「階層別育成体系」で構成する「新たな人材育成体系」を策定しました。これにより社員一人ひとりの成長を支援し、これからの事業を支える人的基盤の強化を計画的に推進しています。



新卒採用での女性の採用に意欲的に取り組んでおり、女性社員が活躍できる土壌を固めつつあります。もともと性別に関係なく仕事を任せてくれる風土ですが、今後は環境や制度の整備、充実はもちろんのこと、社員の意識改革にも本格的に取り組んでいきます。

(株)ミライト・テクノロジーズ  
経営企画本部 総務部長  
グループ経営推進室長  
ワークライフバランス推進室長  
鹿本 真由



中堅社員研修

### 働きやすい職場づくり

#### 災害時における社員の安全確保

大規模災害への備えと社員の意識向上のため『大地震等災害対応ポケットマニュアル』を作成しています。

マニュアルには、非常時に落ち着いて行動できるよう、大規模災害発生時の行動原則や安否確認の方法、災害情報の収集方法などがまとめられており、社員全員に配布されています。



『大地震等災害対応ポケットマニュアル』

## 環境への負荷を減らし 地球をよりよくなる事業に取り組む

新エネルギーや環境関連事業を推進するとともに、事業活動におけるエネルギー使用量削減や廃棄物の再資源化などの施策を行っています。自然環境の保全に努め、健全な地球環境を次世代に引き継ぐことを目指します。

### 環境マネジメントシステム

#### 環境保全の主な取り組み

- 「緑の募金」、里山保全活動へのボランティア
- 燃料電池自動車の導入
- 拠点事務所にグリーンカーテン
- 太陽光発電設備を備えた技術センターの開設
- LED照明への切り替え
- 宮城電業協会主催の「東北被災地防潮林植樹ボランティア」への参加
- NTT 東日本主催の「水辺クリーンキャンペーン」への参加

ミライトグループでは、グループ各社で環境マネジメントシステム (ISO14001) の認証を取得しています。

#### 環境方針

日々の事業活動を通じて、地球環境の保全活動を推進し、社会の良き企業市民として豊かな社会の創造に貢献する。

- 省エネ法、廃棄物処理法等の環境保全に関する法規制及びその他の要求事項を順守し、地球環境負荷の低減と汚染の予防を図る。
- 適切なリスクアセスメントの実施を通じて環境リスクを低減するとともに、効果的な環境活動を実現する。
- ミライトグループで働く全ての人は、環境保全に対する認識を高め、健全な地球環境を次世代に引き継ぐために積極的に行動する。

### 環境負荷の低減



枝川ビルにおける省エネ推進

地球温暖化の大きな要因となっている温室効果ガスの排出量を削減するため、エネルギー使用量の削減と再資源化の向上を推進しています。また、各部門でグリーン商品の購入を優先的にを行っています。

#### オフィスにおける省エネ施策

オフィスにおけるエネルギー消費は、電気の使用によるものが多く占めていることから、ピーク電力への対応などグループ一体となって節電に取り組んでいます。

- プリンター、コピー機の台数削減
- 全社員のパソコンを省電力設定
- 室温設定の徹底
- 必要最低限の照明、不要な照明の消灯の励行
- エレベータの使用抑制の啓発・促進

#### 緑化推進活動

地域の緑化への貢献、また東北復興に協力するため、宮城電業協会による東北被災地への防潮林植樹ボランティアに参加しています。

また、公益社団法人 国土緑化推進機構、公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会などへの寄付を目的とした「緑の募金」への参加、公益社団法人 緑の地球防衛基金に使用済みのテレホンカードや切手を送付することで、世界各地での緑化推進活動に貢献しています。



東北被災地の防潮林植樹ボランティア

### 新エネルギーと環境関連事業

#### 太陽光発電システム

ミライトグループの太陽光発電設備の構築は、規模にかかわらず導入の提案から設計・調達・建設・運転管理・保守点検までトータルでサポートしています。2014年度の受注実績は前年度比2倍以上の107MWh規模となりました。

また、「ミライト栃木小野寺太陽光発電所」(年間発電量:1,270MWh)では売電事業も実施しており、エネルギーマネジメント技術をより高め、さらに環境関連事業を拡大していく予定です。



ミライト栃木小野寺太陽光発電所

#### EV急速充電システム

電気自動車 (EV) やプラグインハイブリッド自動車 (PHV) の本格的な普及に向けて、電気自動車充電インフラ整備への取り組みを積極的に展開しています。

高速道路のサービスエリア・パーキングエリア、コンビニエンスストアなどを対象に、全国で1,000カ所以上にわたりEV急速充電器の設置工事を行うほか、ミライト新木場ビル内駐車場に急速充電器を設置し、一般へのサービス提供を行っています。



EV急速充電システム

#### エネルギーマネジメントシステム

エネルギーマネジメントシステム (BEMS) は、エネルギーの使用量を見える化し、制御するシステムです。ビルや各種施設の空調設備の運転管理を自動で行うことにより、最適な居住環境を維持しつつ、エネルギー消費量の削減を図ることができます。ミライトグループは設計・構築・保守までトータルに提供しています。

#### 家庭用蓄電システム

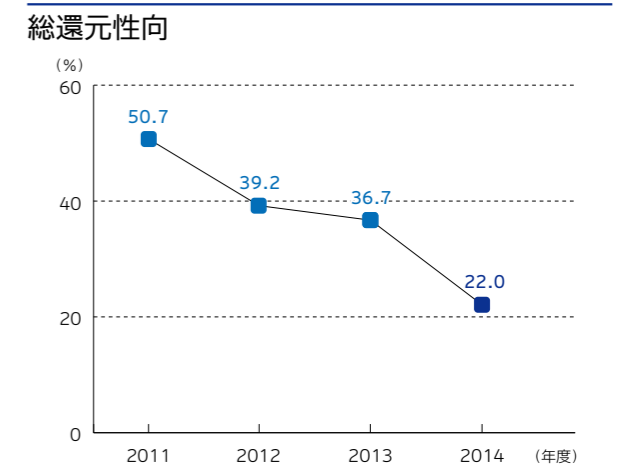
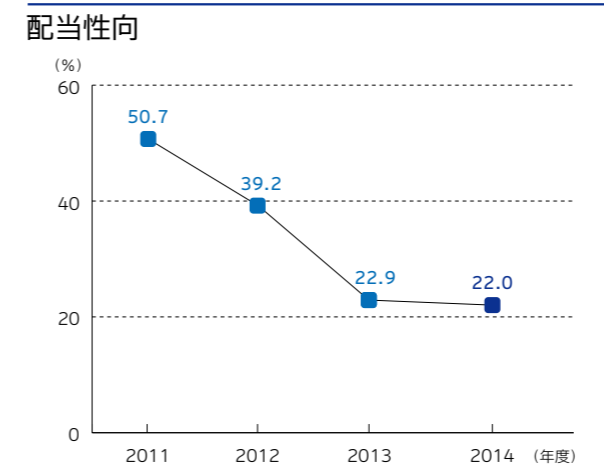
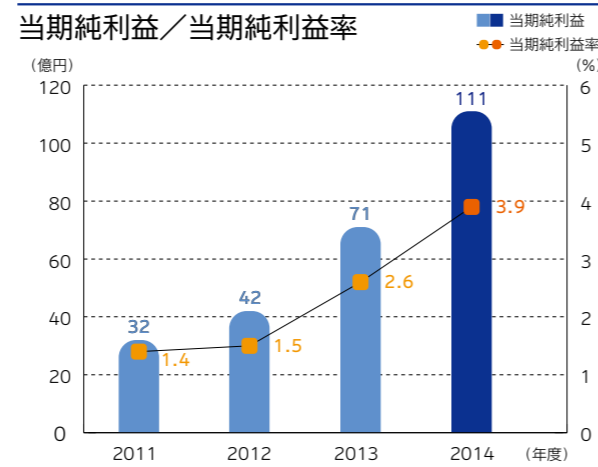
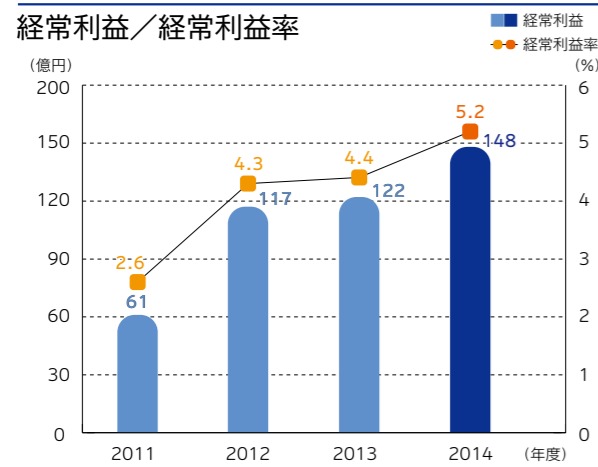
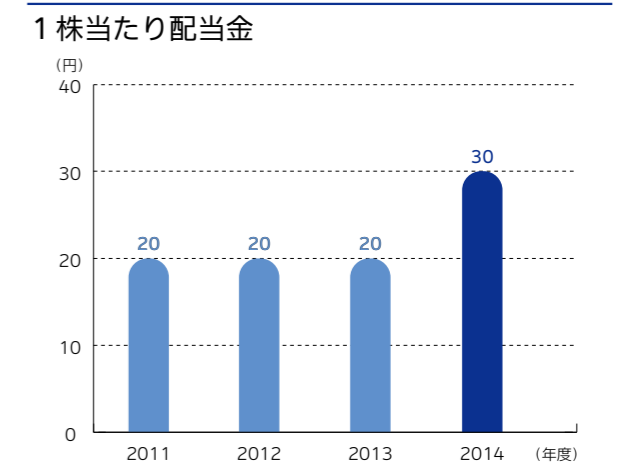
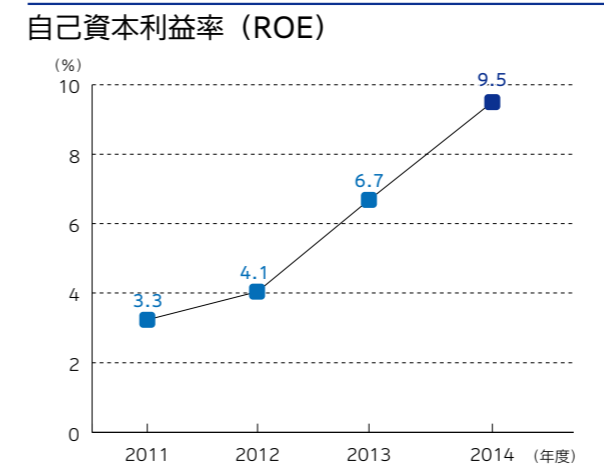
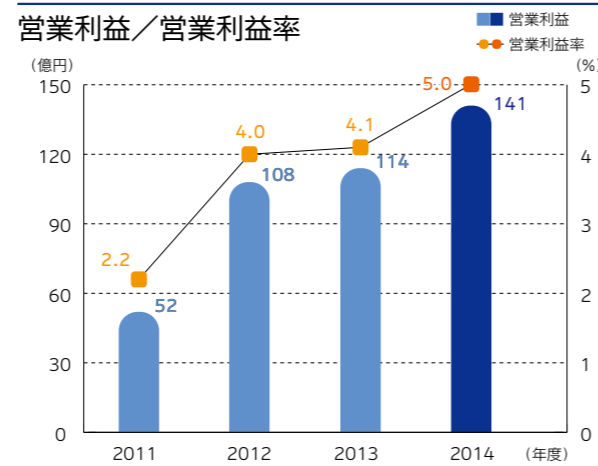
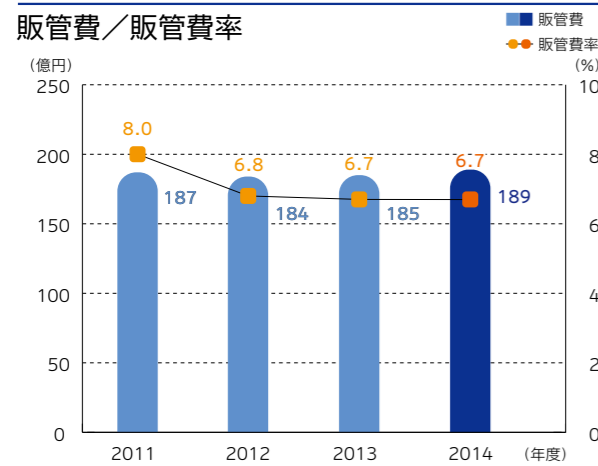
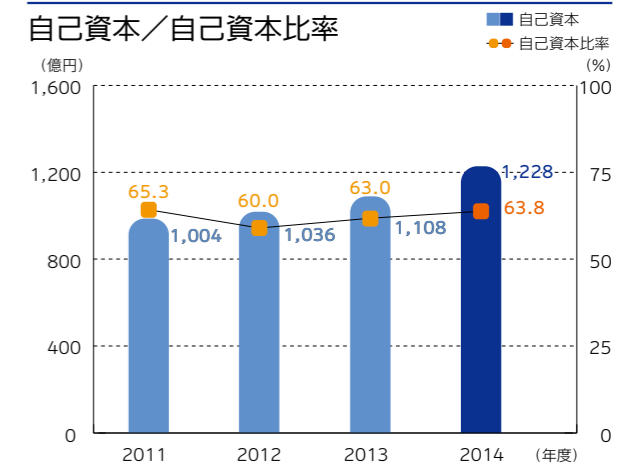
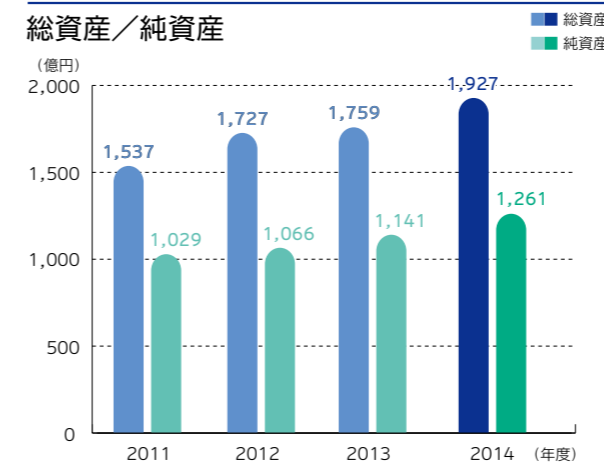
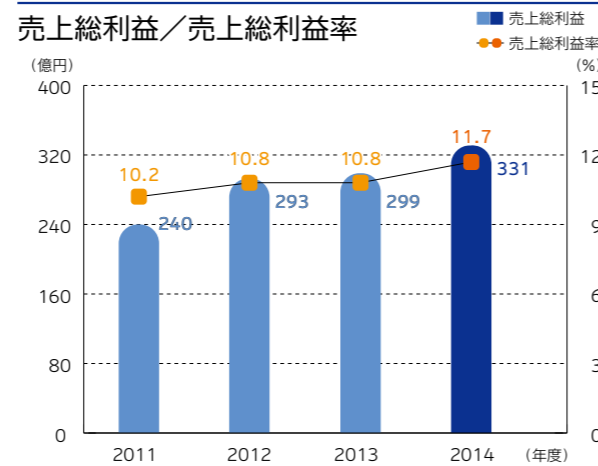
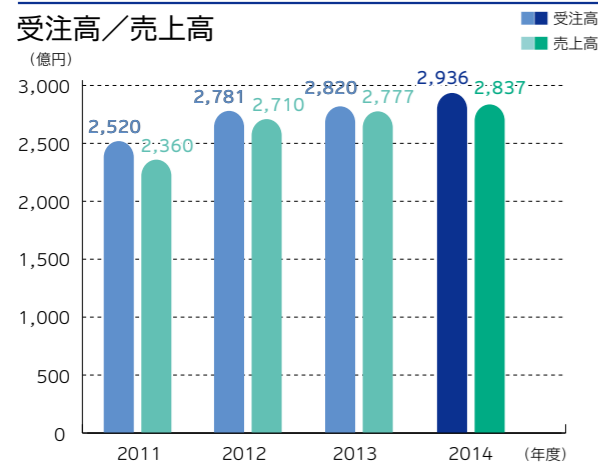
夜間に貯めた電力を昼間活用することで電気料金を低減できる戸建て向けの蓄電システムを提供しています。既存の系統電力や屋根に設置した太陽光発電と連動させることも可能で、停電時には非常用のバックアップ電源として活用することもできます。さらに、ネットワークを介して24時間365日遠隔でシステムの状況を監視するメンテナンスを提供しています。



戸建て向け蓄電システム

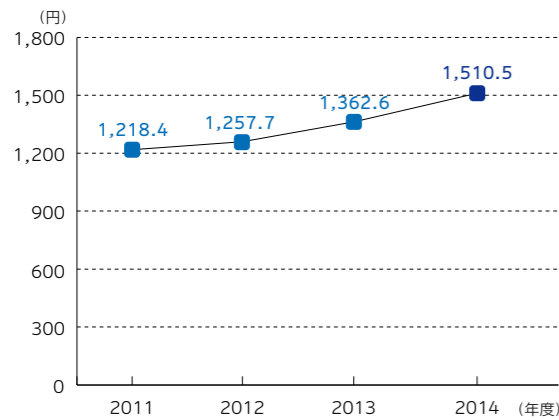
# 健全な財務体質のもとで 堅実な経営を続ける

社会に認められ信頼される企業グループであり続けるために、健全な財務体質を堅持するとともに、Web サイトや冊子などを通して迅速かつ正確に財務情報を公開しています。

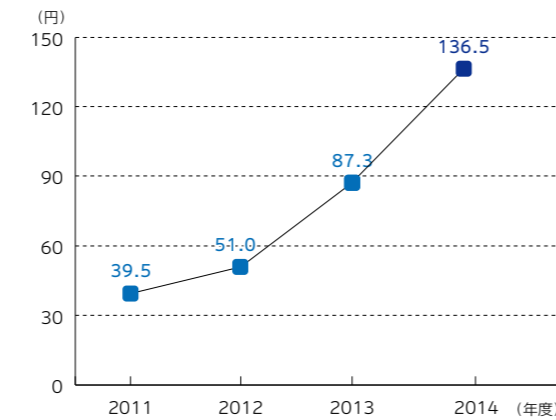


※最新の情報はWebサイト(<http://www.mirait.co.jp>)をご参照ください。

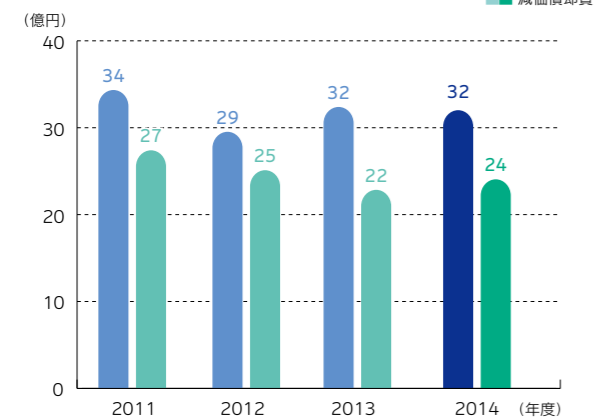
### 1株当たり純資産



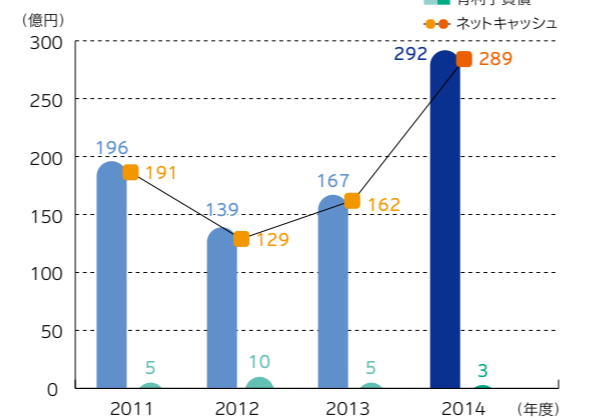
### 1株当たり当期純利益



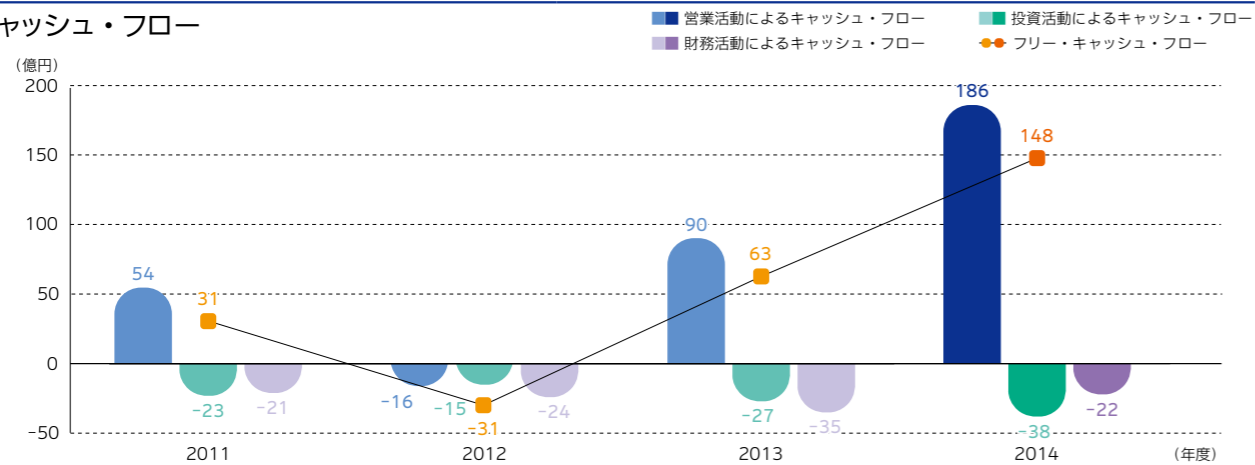
### 設備投資額／減価償却費



### 現預金等／有利子負債



### キャッシュ・フロー



## 株主の状況

2015年3月末現在

### 株式の状況

発行可能株式総数 330,000,000 株  
 発行済株式総数 85,381,866 株 (うち、自己株式の数 4,047,927 株)  
 株主数 19,050 名  
 (自己株式除く)

### 大株主の状況

氏名又は名称	持株数 (百株)	持株比率 (%)
住友電気工業株式会社	162,360	19.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	33,686	4.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	26,871	3.30
住友電設株式会社	24,886	3.06
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	17,745	2.18
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	14,115	1.74
ミライト・ホールディングス従業員持株会	13,185	1.62
株式会社みずほ銀行	12,299	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 9)	9,946	1.22
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	9,045	1.11

※1 持株比率は当社所有の自己株式 (4,047,927 株) を控除して計算しています。  
 ※2 持株数は百株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

### 所有者別株式分布状況 (自己株式除く)

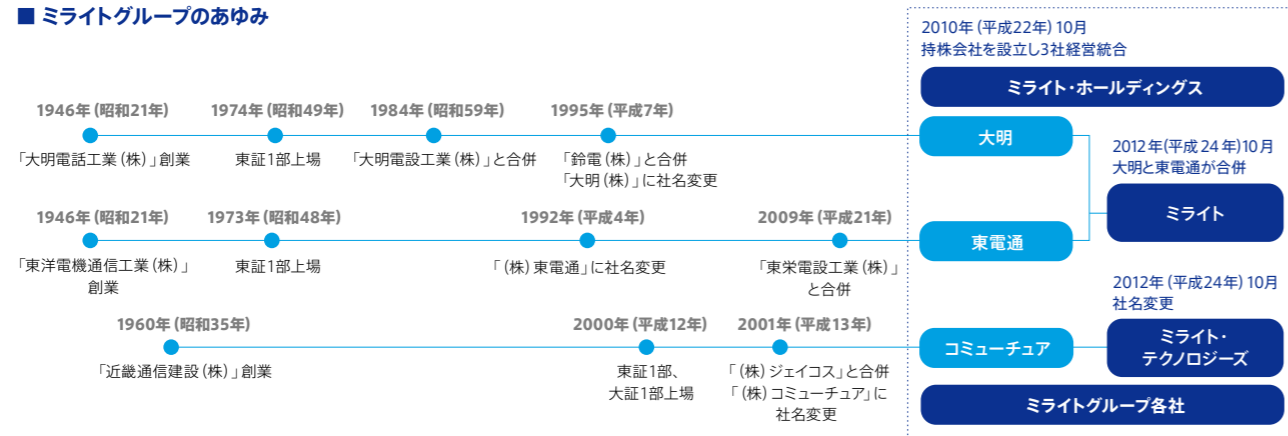
所有者別株式数	(株)	(%)
金融機関	19,106,818	23.5
金融商品取引業者	1,225,844	1.5
その他の国内法人	25,414,786	31.2
外国法人等	19,746,525	24.3
個人・その他	15,389,966	19.5
合計	81,333,939	100.0

所有者別株主数	(名)	(%)
金融機関	47	0.2
金融商品取引業者	37	0.2
その他の国内法人	285	1.5
外国法人等	200	1.1
個人・その他	18,481	97.0
合計	19,050	100.0

ミライト・ホールディングスの概要

設立	2010年10月1日	主な営業拠点	【国内】33拠点 ※ミライト、ミライト・テクノロジーズの合計 【海外】6拠点(オーストラリア、香港、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、スリランカ)
資本金	70億円	連結子会社数	35社 (2015年3月末現在)
社長(CEO)	鈴木正俊	従業員数	【連結】7,334名 (ミライト・ホールディングス 99名) (ミライト 連結 4,337名 単体 2,626名) (ミライト・テクノロジーズ 連結 2,898名 単体 885名)
株式	【発行済株式数】85,381,866株	決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード番号:1417)		
格付	格付投資情報センター (R&I) A- 日本格付研究所 (JCR) A		
所在地	東京都江東区豊洲5丁目6番36号		

ミライトグループのあゆみ



社名の由来

私たちの希望をのせた未来に向けて、煌々と輝ける光の束を放ち、行く先を照らしながら、お客さまとともに成長し続ける総合エンジニアリング & サービス会社。それが私たち「MIRAIT(ミライト)」です。「未来」、「IT」の2つの言葉を包含し、私たちのこの新しい決意を簡潔に表現しています。

MIRAIT > 未来  
MIRAIT > Information Technology  
> Integration Technology

コーポレートマーク

「3つの思い」を3本の太いラインで象徴化。それらをつなぎ、高品質な事業がグローバルに広がる様子をゴールドのアーカラインで表現し、全体を「M」のイメージとしました。未来を切り拓いて行こうとする私たちの針路の象徴でもあります。



3つの思い

- ① 事業ドメインの「幅」を拡げ  
> 上流から下流工程の拡大  
(企画・設計、建設、保守・運用等)
- ② 事業ドメインの「高さ」を極める  
> NI+上位レイヤ+下位レイヤまでのトータル提案
- ③ 新しい事業ドメインへの展開を図る  
> 電気、環境、エネルギー分野等、将来の統合的な社会インフラの創造に寄与

グループ会社一覧

連結子会社および海外子会社

株式会社ミライト・ホールディングス

株式会社ミライト	株式会社ミライト・エックス	株式会社ミライト・テクノロジーズ	MIS九州株式会社
株式会社エムズフロンティア	DAIMEI SLK (Private) LIMITED.	株式会社アストエンジ	片倉建設株式会社
大明テクノ株式会社	東電通アクセス株式会社	株式会社リガール	奈良建設株式会社
國興システムズ株式会社	東電通ネットワーク株式会社	株式会社コトネットエンジニアリング	株式会社ブラクティカル・ソリューションズ
東邦建株式会社	株式会社日設	株式会社コムリード	株式会社アクティス
明成通信株式会社	株式会社沖創工	株式会社ミライト情報システム	近畿電機株式会社
株式会社日進通工	株式会社リブネット	株式会社グラウンドクリエイト	MIRAIT Technologies Australia Pty.Limited (オーストラリア)
大明ネットワーク株式会社	タイムテック株式会社	株式会社エーライズ	MIRAIT PHILIPPINES INC. (フィリピン)
大明通産株式会社		株式会社フューコム	MIRAIT Information Systems Myanmar Co., Ltd. (ミャンマー)
新光電機株式会社		株式会社ラビネット	
大明ビジネスメイト株式会社			

主な営業拠点

